

| | | | | | | | |
|---|------------------------|-----|--------|-----|---|-----|---|
| 科目の種類 | 必修 | 科目名 | ライティング | 学 年 | 3 | 単位数 | 3 |
| コ ー ス | 文系進学コース・理系進学コース | | | | | | |
| 教 科 書 | 第一学習社「Vivid Writing」 | | | | | | |
| 副 教 材 | エスト出版 「英語構文ステップアップノート」 | | | | | | |
| 科目のねらい <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えや気持ちを英語で伝えるために必要な語句や表現や構文を覚え、英語表現能力が身に付くことを目指します。 ・大学受験に対応する英文法・英作文の力を養成します。重要構文、熟語を活用して英文を作成します。 ・実用英語技能検定試験準2級～2級の取得を目指します。 | | | | | | | |
| 授業の進め方 <ol style="list-style-type: none"> 1 各課（英語構文ステップアップノート）の内容を説明し、深い理解を得ます。予習の確認として、授業の頭でステップアップノートの左側の重要基本例文の暗記テストを行います。 2 EXERCISESの問題演習の答え合わせと解説を行います。 3 ステップアップノートの項目と同じ項目を「英語問題総整理」を用いて解説します。單元ごとに單元別確認テストを行います。 <p>※ 上位クラスは発展問題も含めて学習していきます。難易度が高いので十二分な準備が必要になります。</p> | | | | | | | |
| より良く学習を進めるためのアドバイス <ul style="list-style-type: none"> ・英語の単語と日本語の単語が、「一対一」の関係ではないことを忘れないでください。日本語の単語をそのまま英語に置き換えるだけでは英文は書けません。 ・英文法のしっかりとした知識を身につけ、大学受験の問題を簡単に解けるレベルを目指しましょう。 ・文型や英文法の知識を活用して、英作文を創造するときに役立てることが大切です。絶えず、主語と動詞を明確にすることが英作文を作るときに大切になります。 ・同時に、英文法だけでなく英語特有の言い回しを多く覚えることが大切です。よい英文をくり返し学んで暗記すると英語力は、飛躍的に伸びます。 ・暗唱した例文を忘れないように絶えず復習する習慣をつけましょう。その努力が英語力を確実に伸ばしてくれます。決してその場だけの暗記にならないようにしましょう。 | | | | | | | |
| 評価方法 <ul style="list-style-type: none"> ・定期試験の得点を中心に評価します ・確認テスト、課題、ノート提出、授業態度も評価に加えます。 | | | | | | | |

| 学期 | 学 習 単 元 | 学 習 の 内 容 と ね ら い |
|--------|--|--|
| 前 期 | 1 : It を含む構文(1) 2 : It を含む構文(2) 3 : 基本文型に関する構文 1) 4 : 基本文型に関する構文 2) 5 : 基本文型に関する構文3) 6 : 助動詞を含む構文 | 1 : It is ~ for A to doなどのIt を含む構文について。 2 : It seems that...などのIt を含む構文について。 3 : The fact is that...などSVC (第2文型) について。 4 : SVO (第3文型), SVOO (第4文型), SVOC (第5文型) について。 5 : 使役動詞や知覚動詞の使い方について。 6 : would like to...など助動詞を含んだ重要構文について。 |
| | 中 期 | 間 試 験 |
| 中 期 | 7 : 不定詞を含む構文(1) 8 : 不定詞を含む構文(2) 9 : 動名詞を含む構文(1) 10 : 動名詞を含む構文(2) | 7 : 形容詞的用法や副詞的用法について。 8 : 副詞的用法で用いられる特殊構文について。 9 : 目的語に動名詞しかとらない動詞や動名詞を含む構文について。 10 : be used to ~ ing, などの慣用的に使われる構文について。 |
| | 末 期 | 試 験 |
| 後 期 | 11 : 名詞＋分詞 12 : 分詞構文 13 : 分詞を含む構文 | 11 : 分詞の名詞修飾や have difficulty ~ ing, などの分詞を用いた慣用表現について。 12 : 分詞構文 (譲歩、時、付帯状況、条件、理由を表す分詞の句) について。 13 : with O C, 分詞構文の慣用句について。 |

| 学期 | 学 習 単 元 | 学 習 の 内 容 と ね ら い |
|--------|---|---|
| | 14：関係詞を含む構文(1) 15：関係詞を含む構文(2) | 14：通常の関係詞の使い方や目的格省略や慣用表現について。 15：特殊な関係詞 what や非制限用法や複合関係詞について。 |
| | 中 間 試 験 | |
| | 16：接続詞を含む構文(1) 17：接続詞を含む構文(2) 18：接続詞を含む構文(3) 19：比較を含む構文(1) 20：比較を含む構文(2) | 16：等位接続詞andの使い方を中心について。 17：not A but B や同格の that 節などの特殊な構文について。 18：so ~ that..., C as S+V (譲歩を表す) などについて。 19：not as ~ as...や倍数構文, などについて。 20：No other 単数名詞 is as ~ as..., 比較級 and 比較級, the + 比較級, the+比較級などについて。 |
| | 期 末 試 験 | |
| 後 期 | 21：仮定法を含む構文(1) 22：仮定法を含む構文(2) 23：否定を含む構文 24：There 構文・同格・ 挿入・強調 25：倒置・省略 26：代用を表す構文・無生物 主語 27：名詞構文 不定代名詞を含む構文 | 21：仮定法過去、仮定法過去完了などについて。 22：If it were not for~, などの慣用表現について。 23：hardly, not always などの否定を含む特殊構文について。 24：There is S doing, 等について。 25：否定語 V S, 省略について。 26：that of ~, So V S, 無生物主語構文について。 27：動詞の名詞化表現や不定代名詞について。 |
| | 学 年 末 試 験 | |